

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	姫路市ホームレス自立支援実施計画第一回懇話会
2 開催日時	令和2年7月31日（金曜日） 14時～16時
3 開催場所	姫路市総合福祉会館 5階 第2会議室
4 出席者又は欠席者名	（出席者）武田 英樹（Web参加）、中西 祥子、鷗山 雅之、車田 誠治、 森田 智裕、酒井 淳子、大西 麻衣子、藤原 さおり、仲林 研 （欠席者）小倉 美香 （事務局）生活援護室 松本室長、佐野主幹、下多係長、河本主事
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人なし
6 議題又は案件及び結論等	姫路市ホームレス自立支援実施計画の見直しについて
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

意見・要望等

- ・ 市政モニター・アンケートで市民の方が思われているホームレスと実際のホームレスの実態とに差異がある。
- ・ 市政モニター・アンケートでは就労へ移行することに重要性を感じている意見が多いが、ホームレスになられる方は他に色々と課題を抱えている人がいるので、就労だけではない支援の視点も含めた考えが必要だと思う。
- ・ 計画の目的の方向性として、ホームレスになることを防止するための施策への期待が大きいとは思いますが、社会状況が悪化するとホームレスは増加するので、ホームレスになった人への支援は引き続き重要ではないか。
- ・ 市民からのホームレスの見え方とホームレスの実態との差異について、何らかの形で情報発信できたら相互理解を深めるのにいいと思う。
- ・ 災害が起こったとき、ホームレスの人へどのように支援したらよいか難しい。
- ・ 現在いる6名のホームレスが自ら望んでホームレスをしているのか、保護してほしいと思っているのか分からない。
- ・ ホームレスの方などに対する総合相談会は今後も継続していきたい。
- ・ 今姫路にいる6名のホームレスは定額給付金を受給できたのかが気になっている。
- ・ コロナ禍において感染症対策を具体的な計画の中に盛り込むべきだと思う。
- ・ 難しいとは思いますが、ネットカフェ等運営者側への協力を依頼できたらよいと思う。
- ・ 現在いる6名のホームレスについて、支援してほしい人と自らの意思でしている人と数字を分けるべきだと思う。
- ・ 兵庫県のホームレスの自立支援等に関する実施方針のP. 24以降のチャートが分かりやすいので、このようなチャートを市のホームページに載せられたらいいと思う。
- ・ 行政としてホームレスに対する施策がどのようなものがあるか市民にアピールしたらよいと思う。
- ・ 民間の団体は活動内容を発信する機会が増えたらよいと思う。
- ・ 人権学習を子供だけではなく、地域住民全体に対してする必要があると思う。
- ・ ホームレスになることを未然に防ぐために、協力者を計画に載せられたらよいと思う。

質問

- ・ 資料1の中で初年度の実績が数件あったものが近年0件になっているものがある。(P. 3心のケアに関する対応のチラシの配布、P. 4 救護施設への入所支援、P. 5 居宅生活への移行支援) その理由が知りたい。

⇒心のケアに関するチラシの配布は保健所に確認し次回報告する。救護施設への入所や居宅生活への移行支援に関しては、一時生活支援事業が始まり、一旦一時生活支援事業を利用してから救護施設

や養護老人ホームへ入所したり、居宅生活へ移行するようになったためと思われる。

- ・新たなホームレスを生まない福祉社会の実現のために、ネットカフェを利用している人もホームレスに含めることは可能か。

⇒今のところはホームレスとして定義していないが、ネットカフェ利用者の中には困窮状態の方もいるので、議論していくべき事項であると思う。

- ・6名のホームレスは未だにホームレスなのか。

⇒令和2年1月の調査以降、随時調査はしていないが、ホームレスの中で直接お会いできた方については、今後の暮らしについての相談や支援についてお話しをさせていただいています。